

SNS非行防止教室

目的

- (1)身近な道具であるスマートフォン等と自分との関わりについて考え、自分にも起こる可能性がある問題を認識させる
- (2)インターネット上で発生するコミュニケーショントラブルやその他トラブルを知り、円滑なコミュニケーションに必要な要素やインターネットの特徴、トラブルの際の影響範囲や注意点について理解させる

3月7日（金）4校時、本校体育館にて、旭川中央警察署、生活安全課の方を講師に迎え、「**SNS等のトラブルに関わる非行防止教室**」がおこなわれました。主にDVDで幾つかのトラブルの再現ドラマを視聴するもので、内容は次のようなものでした。

エピソード1

スマホを買ってもらった女子中学生が、すぐにフィルタリングをはずしてSNS掲示板を利用 → 男子中学生とメッセージを交換 → 個人情報や顔写真のリクエスト → 相手から「会おう」というメールに断ったところ、ネットで「個人情報を広める」と脅される。

エピソード2

ワンクリックによって、個人情報が引き出され、身に覚えのない支払い請求が来る。そこから脅されて詐欺被害にあってしまう。

エピソード3

無料アプリ（公式でないもの）をインストールしたところ、スマホ内の個人情報が盗まれる。その後、怪しいメールが自分や知り合いのスマホにどんどん入ってくるようになる。スマホ内にあった友達のアドレスなども盗まれていた。

エピソード4

つきあってきた友達に自分のスマホを渡し、アプリのインストールをしてもらった。→ その後、性格の不一致などから、別れようとしたが、以前にインストールしてもらったアプリを悪用しストーカー行為の被害にあってしまった。

「これらは、友達同士であっても起こりえるトラブル事例です。ふざけただけでも写真や個人情報の要求はしないように。困ったときは、親や警察に相談することが大切。」

